

## テメキュラ市訪問記 [3]

今年の夏は、町内中学生5人が米国テメキュラ市を訪問し、交流事業の感想文の一部を紹介してきました。今回は最終回です。

Let's go  
for broke!!

大山中3年 小原 和貴

テメキュラ市の交流で驚いたことは「食事」です。アメリカの人たちは、たくさん食べるイメージだけれど意外と少食でした。でも、店で注文する量はものすごく多くて驚きました。そしてやはり、みんなたくさん残していました。なぜかと思ったら、入れ物を持ってきていて、その残り物を入れ、家に持って帰っていました。みんな平然とやっていたので驚きました。



▲ホストファミリーとともに

その日の夜に、昼の残り物を食べました。アメリカの文化を知らないと思うことがたくさんありました。

文化の違いの中で最も苦労したのは、物事の伝え方です。アメリカの人は思ったことを素直にはっきりと言います。しかし日本人は遠慮したり、一歩後ろに引いたりした方が良く思っています。

ホームステイ先でもその癖が出てしまいました。自分の意思をはっきりと伝えなかつたので、ホームステイ先の人たちを困らせてしまいました。気をつけていたのに、いきなり何をしたいのかと聞かれると、どうしても答えることができなませんでした。こんな失敗している、もっとしっかり勉強してから行くべき

だったと後悔ばかりしてしまいました。僕はこのテメキュラ研修での経験をしっかりと将来に役立てていきたいです。

アメリカ研修を  
終えた今

中山中3年 小倉名南子

私がアメリカ研修会に参加した理由は、以前に私の家で受け入れをしたホストファミリーから「名南子がアメリカに来たら受け入れをする」というメールがきたからです。

テメキュラ市の訪問では市役所が印象に残っています。練習した大山町のプレゼンテーションはたぶん良かったと思います。市役所内はとても綺麗で驚きました。日本とは違うなと思いました。入口のすぐ横には、大山町から贈った物が飾られています。飾るだけでも良く見えるように工夫されているみたいで目立っていました。テメキュラの議員さんは1年ごとくらいに変わるそうで、聞いたときは驚きました。1年交



▲テメキュラ市のワイナリーで

代くらいだと少し大変そうですが、その分いろいろ意見が出るのでおもしろそうだなと思いました。議員はほとんどボランティアでされているそうです。ボランティアでも議員になるという事は、それだけ町を大切にしているのだと思います。市役所以外にも見学したけれど、図書館などはとても充実していました。日本にはないものばかりで、ほとんど驚いてばかりでした。

私はアメリカでたくさん失敗をしたし、英語もわからなくて大変でした。それでも多くの人と関わる中で楽しいと思えたり、英語が通じてうれしいと思えたりしたことは本当に良かったです。

### 1週間親元を 離れて通学

名和通学合宿

11月13日(日)から19日(土)までの7日間、あけまの森にある大山青年の家で、名和小学校の4～6年生の児童20人が名和通学合宿を行いました。

1週間親元を離れて、洗濯や掃除、食事の配膳などの身の回りのことをみんな協力して行いながら学校に通いました。また合宿期間中には、写仏やニュースポーツ体験、星空観察などを通して、日常では体験できない貴重な時間を過ごしました。



▲毎日班ごとに1日の振り返りをまとめました